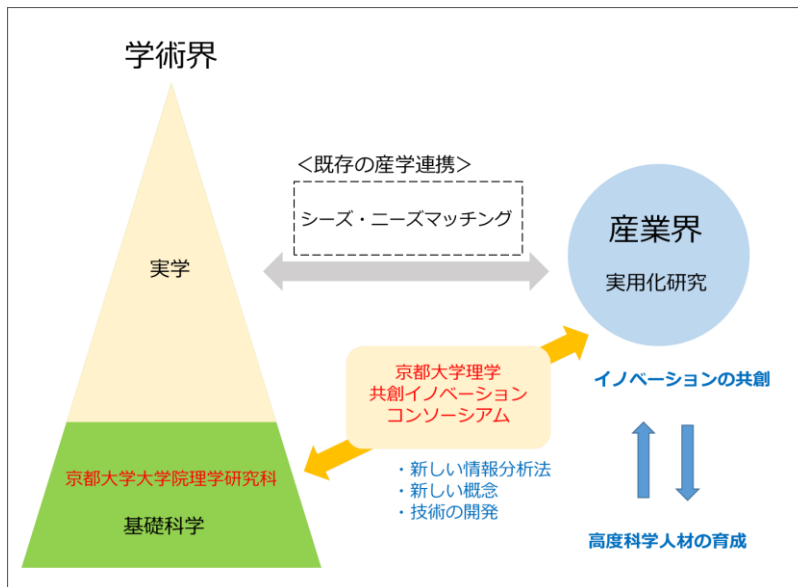


京都大学理学共創イノベーションコンソーシアムの設立

—高度科学人材を社会と共に育成—

概要

次々と新しい学問分野を開拓し、卓越した研究成果をあげ、ノーベル賞受賞者を輩出してきた京都大学大学院理学研究科・理学部（以下、京大理学）。その知と産業界が接点を持つことで、思いがけない大きな成果を共創することが期待されます。理学、それは好奇心に突き動かされて、自然の摂理を解明しようとする学問といえます。理学は基礎科学ゆえ、様々な課題解決の基盤技術として応用することが可能です。さらに、京大理学には好奇心が旺盛で創造力豊かな学生が集い、専門や年齢の壁を越えて自由に対話できる土壤があります。このような土壤で高度な科学力を培った博士人材は社会課題解決指向型研究にブレイクスルーをもたらす起爆剤になる可能性を多分に秘めています。現代社会においては、AIや量子情報技術など、全く新しいコンセプトの技術開拓が必要となってきました。そこで、京大理学は産業界と新しい価値を共創し、それによって高度科学人材育成の好循環をもたらすことを目的としたコンソーシアムを2023年9月に設立します。本コンソーシアムでは博士課程学生だけでなく教員全員が参加し、研究交流、最先端研究の紹介の他、個別相談も受けます。また、基礎科学に取り組む理学研究科を応援して下さる個人の方も歓迎します。本コンソーシアムの活動につきましては後日説明会をオンラインで開催します。ご興味のある方はご参加ください。



本文

1. コンソーシアム設立趣旨

科学技術立国を支える高度科学人材を共に育成しませんか

人の活動が地球に大きな影響を与え、「人新生」という地質学的な名前まで生まれるにいたった現在、気候変動、エネルギー、生物の大量絶滅などの問題に待ったなしで取り組まなくてはなりません。しかし様々な要素が絡み合ったこれらの問題に、高度専門化により蝸壺化した科学ではもはや太刀打ちできなくなっています。そこでいろいろな分野に応用が可能な基礎科学が重要になってきます。

京都大学大学院理学研究科・理学部（以下、京大理学）は、理学部設立以来次々と新しい学問分野を開拓し、卓越した研究成果をあげて、ノーベル賞をはじめとする国際的に著名な賞の受賞者を数多く輩出してきました。それを支えてきたのは、好奇心が旺盛で創造力豊かな学生が集い、専門や年齢の壁を越えて自由に対話できる土壌です。この土壌につきましては令和4年に京都大学学術出版会から出版された2つの書籍『京大式サイエンスの創り方』『京大理学部 知の真髄―玉城嘉十郎の2つの遺産』に詳述されています。この土壌で育成された高度科学人材は産業界との対話も楽しみ、そして対話しながら分析、整理してその解決に貢献できるものと期待されます。

理学は研究の過程において、問題解決の基礎となる情報分析の手法や概念の創出、新規な技術の開発を伴います。この各プロセスが基礎科学ゆえにいろいろな分野に応用可能なのです。実際、社会を大きく変えるような発見や発明が直接関係ない分野から現れることは、よく知られた事実です。

しかしながら多くの教員は自分の研究は産業界とは縁がないと考え、また、産業界も理学の研究は社会から離れた仙人のような研究と捉え、関心をあまり示してきませんでした。このように大きな可能性を秘めながらも、出会いがなかった京大理学と産業界。その交流を実現すれば、想像もしなかった大きな新しい価値を共創できるのではないのでしょうか。

京大理学の研究者との議論を通して産業界の取り組んでいる課題解決の糸口が見つかり、また、学位取得者が産業界で活躍する場面が増えれば、それが博士課程進学者の増加につながるという高度科学人材育成の好循環が生まれることが期待できます。

そこで京大理学は、教員全員と博士課程の学生が参加するコンソーシアム「京都大学理学共創イノベーションコンソーシアム」を設立することにしました。

博士課程の学生と企業の交流なら、新しいコンソーシアムを立ち上げなくても最近には色々な活動が行われているからそこへ参加すればいいのではないかと、という考えもあるかと思います。しかしそれらの活動に参加する企業が興味を持つのは、自社の研究開発課題に役立ちそうなテーマに取り組んでいる学生です。その高度な専門性への期待からです。京大理学はそのようなテーママッチングの発想ではなく、理学という学問の特長を前面に出し、その価値を理解し、活用し、また応援して下さる企業、個人の方に参加をお願いする独自のコンソーシアムを立ち上げることにしました。

3. コンソーシアムの活動内容

(1) 博士人材との交流

① 研究交流会

博士課程在籍者による研究紹介セッションと交流会（1回/年）。

② 企業研究説明会

博士課程在籍者および博士課程に進学する意欲のある修士課程学生を対象とし、各企業における研究開発概要や体制、取組方針などについて紹介する研究説明会。

上記研究交流会と併せて開催する（1回/年）

(2) 研究者による最先端研究の紹介と産学連携の促進

新規事業のための最新研究成果の探索に活用していただけます。

① サイエンス講座

研究者（おもに若手研究者）による当該分野の研究レビューを含む最新研究とそれを支える技術の紹介（年3回程度）

② 出張講演

要望に応じて研究者を派遣、希望するテーマで講演/ディスカッションを実施

③ 個別相談

会員が有する科学的課題に研究者との個別ディスカッションを通して対応（1回/年）

3. コンソーシアム会員の種類

	提供メニュー	年会費（税込）
1.1 法人会員 A	(1) 博士人材との交流 ① 研究交流会 ② 企業研究説明会 (2) 研究者による最先端研究の紹介と産学連携の促進 ① サイエンス講座 ② 出張講演 ③ 個別相談	1,000,000 円
1.2 法人会員 B	(1) 博士人材との交流 ① 研究交流会 (2) 研究者による最先端研究の紹介と産学連携の促進 ① サイエンス講座	500,000 円
2 個人会員	同上	50,000 円
3 京大理学応援 特別会員※	(1) 博士人材との交流 ① 研究交流会 ② 企業研究説明会 (2) 研究者による最先端研究の紹介と産学連携の促進 ① サイエンス講座 ② 出張講演 ③ 個別相談	3,000,000 円

※研究室見学や短期の研究室受け入れなど、個別のご要望に応じます。

4. コンソーシアムの運営

京大オリジナル株式会社が事務局を務めます。

コンソーシアムの詳細につきまして、後日オンライン説明会を開催いたします。開催日時、申込方法は理学研究科ウェブサイトにてご案内いたします。

<お問い合わせ先>

柏崎 安男（かしわざき やすお）

京都大学大学院理学研究科附属サイエンス連携探索センター 企画戦略室

プログラムマネージャー、特定教授

TEL : 075-753-9413

E-mail : kashiwazaki.yasuo.4c@kyoto-u.ac.jp